

## 第2学年西組 道徳科学習指導案

### 「優しい心で楽しいクラスに」

学習指導者 東 泰右

#### 1 学級（33名）の実態

##### （1）手立てを行う自己調整力に関する実態

###### 〔学びを正確に捉える力〕

道徳科の授業に関する質問紙によると、「道徳の時間に、新しく分かったことやできるようになったことが何かを確かめている」と答えた子供は22名であり、学級の半数以上が本時の学びを捉えることができていると感じている。一方、実際の授業の振り返り場面では、「これまでの自分について」「これから大切にしたいこと」などの観点を示していても、何を書けばよいか分からず困っている子供も存在する。

##### （2）教科に関する学級の実態

学級目標である「優しい心で楽しい毎日」について、「自分は優しい心で生活できている」と答えた子供が28名いるのに対し、「クラスの人たちは優しい心で生活できている」と答えた子供は19名に留まった。このことから、「自分は学級目標をきちんと意識して生活しているが、他の人はあまりできていない」と感じている子供が多いことが分かる。また、これまでに優しくした方がよいと分かっているができなかった経験があるのは19名で、その理由として、「そのとき別のことをしていたから・急いでいたから等（8名）」「恥ずかしかったから・緊張したから等（4名）」「知らない人だったから（1名）」などがあつた。

#### 本単元で習得させたい「学びを正確に捉える方法」

「これまでも大切にしていたこと」や「新しい発見」を探す

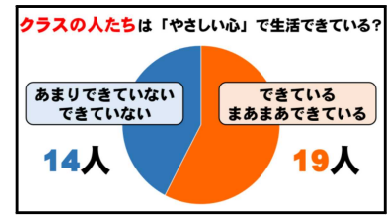
#### 2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

事前質問紙の結果などを基に、学級目標である「優しい心で楽しい毎日」について学級の実態を振り返った子供たちは、「自分はできていると思っていたけれど、本当にできているかな」「クラスにも優しい心はもっとあるはずだよ。友達の優しい心を見付けられるようになりたいな」などと問題を見だし、『優しい心で楽しい毎日』のために大切にしたいことを考えよう」という単元の目標を設定する。そして、その目標の達成のために、道徳科の学習を通して様々な優しい心（気持ち・行為）を見付け、それを実行する難しさや大切さについて考えていこうとする。例えば、『ぐみの木と小鳥』の教材で、嵐の日にも関わらず、小鳥がりすのためにぐみの実を届けに行った理由について話し合う際は、「病気のりすさんに早く元気になってほしいと思ったからじゃないかな。りすさんに喜んでほしかったんだと思うよ」「りすさんが喜んでくれたら、小鳥も頑張っけてよかったと嬉しい気持ちになるね」「なるほど。困っている人に優しくすると、自分も相手も嬉しい気持ちになるということだね」などと、友達との交流を通して多様な感じ方や考え方に触れ、考えを深めていくのである。そして、振り返り場面では、『困っている人の気持ちを考える』ことはこれまでも大切にしていたよ。でも、『相手が誰でも…』ということあまり考えていなかったから新しい発見だな。今日のお話から優しい心が見付かったよ」などと、これまでの自分を見つめながら、自分の考えが強化されたり付加されたりしたところを捉えていく。さらに、本時見付けた優しい心を基に、「優しい心で楽しい毎日」のためにこれから大切にしたいことを友達と伝え合い、その自覚を高める。このように、道徳科の学習で様々な優しい心について学習したことに加え、普段の生活で見付けた身近な優しい心を基に、単元の目標についての自分の考えをまとめた子供たちは、それを実践しようとしていくだろう。

### 3 単元構成の工夫

#### (1) 【魅力的な目標を子供と共有】①

学級目標である「優しい心で楽しい毎日」について、事前質問紙の結果などを基に学級の実態を振り返る。「クラスの人ではできている」と「自分ではできている」の回答数を比較することで問題意識を高め、「『優しい心で楽しい毎日』のために大切にしたいことを考えよう」という単元の目標を設定できるようにする。そして、その目標の達成のために、道徳科の学習を通して様々な優しい心を見付けていくことを共有する。



【事前質問紙の結果の一部】

#### (2) 【自ら選択して、学びを進める場の設定】⑤

「優しい心で楽しい毎日」のために大切にしたいことについて、これまでの学習を基に自分の考えをまとめる時間を設定する。考えをまとめる際は、これまでの板書の写真（学習支援アプリに蓄積）や毎時間のワークシート、学級で見つけた親切な行為を書いた「ぐみの実カード」、単元を通して書きためてきた振り返りカードの中から手掛かりにする物を選び、必要に応じて友達に考えを聞きに行くなど、自分に合った方法を選択しながら学びを進められるようにする。

#### (3) 単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 3/5）

次	学習の流れ	手立て
一	<b>①学級活動</b> 学級目標を振り返ろう 事前質問紙の結果などを基に、学級目標に関する実態を振り返り、問題を見いだす。『優しい心で楽しい毎日』のために大切にしたいことを考えよう」という目標を設定し、単元の見通しをもつ。その後、現時点で自分が大切にしたいと思っていることを振り返りカードに記入する。	<b>【レベルアップタイム】②～④</b> <b>認知</b> ②③時間目の振り返り場面で、優しい心（本時の学び）を見付けるために、「これまでも大切にしていたことや新しい発見を探す」という、学びを正確に捉える方法を教示する。
	<b>②道徳</b> 「ぐみの木と小鳥」から優しい心を見付けよう ～『ぐみの木と小鳥』【B親切、思いやり】～ 嵐の日にも関わらず、小鳥がりにぐみの実を届けに行った理由を考えることを通して、親切にすることの大切さに気づき、これから大切にしたいことを考える。	<b>想起</b> ④時間目の振り返り場面で、「優しい心を見付けるためには、どうすればよかったかな」と問いかけ、学びを正確に捉える方法を想起させる。その後、前時までに方法を用いて優しい心を見付けることができていたことを確認する。
	<b>授業外</b> みんなの優しい心でぐみの木をいっぱいにしよう 学級で見つけた親切な行為を「ぐみの実カード」に書き、帰りの会で紹介するとともに、常時、教室内のぐみの木の掲示物に蓄積していく。	<b>実感</b> 「優しい心で楽しい毎日」のためにこれから大切にしたいことを毎時間書きためた振り返りカードを基に、本時までの自分の考えを確認する時間を設けることで、今日の学習を通して、自分の考えのどこが強化されたり付加されたりしたかを捉えやすくする。また、教師が板書の写真を1人1台端末に送り、色分けして線を引かせることで、これまでも大切にしていたことや新しい発見を探しやすくする。
	<b>③道徳</b> 「まいごのすず」から優しい心を見付けよう ～『まいごのすず』【B親切、思いやり】～ 楽しみにしていた映画を見に行くか、同じ学校の人の落とし物を届けに学校に戻るかを迷う場面で、主人公が葛藤を乗り越えられた理由を考えることを通して、相手が誰かに関わらず、困っている人に親切な行為をすることの難しさや大切さに気づき、これから大切にしたいことを考える。	
	<b>④道徳</b> 「公園のおにごっこ」から優しい心を見付けよう ～『公園のおにごっこ』【B親切、思いやり】～ 年下の男の子との関わりが上手くいくようになった理由を考えることを通して、相手が本当にしてほしいことを考えた上で、親切な行為をすることの難しさや大切さに気づき、これから大切にしたいことを考える。	
三	<b>⑤学級活動</b> 学級目標に向けて、これから大切にしたいことを考えよう これまでに学習したことを基に、学級目標に向けてこれから大切にしたいことを考え、振り返りカードの最後の欄に自分の考えをまとめる。	

4 本時の学習

ね ゆうきが落とし物を届けに戻ろうと思った理由について考えることを通して、親切な行為を実行することの難しさや大切さに気づき、相手が誰かに関わらず、困っている人には親切な行為をしていこうとする道徳的実践意欲を高める。

学習活動と手立て		主な子供の意識		
見 通 し	1 目当てを設定する。	今日、『まいごのすず』のお話から優しい心を見つけていくんだね。 「優しい心で楽しい毎日」のために大切なことを見付かるといいな。		
	<b>「まいごのすず」から、優しい心を見付けよう</b>			
行 動	2 教材文の内容を確認し、落とし物を届けるか迷う気持ちについて話し合う。	落とし物を届けた方がいいのに、ゆうきさんは何に迷っていたのかな。 楽しみにしていた映画が見られないのは嫌だなと思っていたんじゃないかな。	後から来た他の人が届けてくれるかもしれないから、自分が届けなくてもいいかなという気持ちかな。	誰の落とし物か分からないのに届けるのは面倒だという気持ちもあったかもしれない。
	3 ゆうきが落とし物を届けに戻ろうと思った理由について話し合う。 (1)自由交流 (2)全体交流	急いでいて、困っている人に優しくできなかったことがあったよ。	自分も、教室の落とし物を見て見ぬ振りしてしまったことがあったよ。	同じ学校でも知らない人を手伝うか迷ったことがあったよ。
振 り 返 り	4 優しい心を見付け、これから大切にしたいことを記述する。 【レベルアップタイム】	どうしてゆうきさんは落とし物を届けに戻ったのかな。 鍵を落とした人のことを考えたからじゃないかな。		
		相手は知らない人だけど、もし自分が鍵を落としたらとても困るはずだよ。「困っている人の気持ちを考える」ことが大切なんだね。	見て見ぬ振りをしたら自分の心もやもやすると思っただんじゃないかな。	鍵を届けたら、相手が喜んでくれると思っただんじゃないかな。
		相手は知らない人だけど、もし自分が鍵を落としたらとても困るはずだよ。「困っている人の気持ちを考える」ことが大切なんだね。	他人の人が捨てるかもしれないけど、やっぱりきちんと届けた方が自分も相手もいい気持ちになるね。「自分も相手も嬉しくなることをする」ことが大切なんだね。	相手が誰でも、その人が困っていると思ったら優しくしたいな。「相手が誰でも困っている人には親切にする」ことが大切だと思うよ。
		優しい心はどんなところかな。まずは、これまでの自分の考えを見てみよう。 自分は、「困っている人の気持ちを考える」ことはこれまでも大切にできていたよ。		
		これからも、困っている人の気持ちを考えて親切にしたいな。迷ったときも、困っている人の気持ちを考えたら親切にできると思うからだよ。	これまで、仲良しの友達には優しくできていたけれど、「相手が誰でも…」はあまりできていなかったな。	
		これからは、相手が誰でも、困っている人には親切にしていきたいな。その方が自分も相手も心がすっきりすると思うからだよ。		
		これまでの自分のことを考えたから、優しい心が見付かったよ。「優しい心で楽しい毎日」のために、今日勉強したことを大切にしていきたいな。		

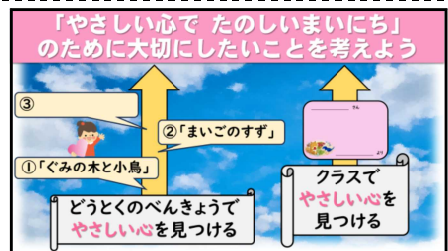
評価 ゆうきが落とし物を届けに戻ろうと思った理由について友達と話し合うことを通して、相手が誰かに関わらず親切にすることの難しさや大切さについて多面的・多角的に考え、これまでの自分を見つめながらこれから大切にしたいことを考えている。 【方法：発言、記述】

5 本時の詳細

～見通し～ **学習活動 1**

本時までには子供たちは、朝の活動の時間を用いて事前に教材文『まいごのすず』を読み、初発の感想を書いている。

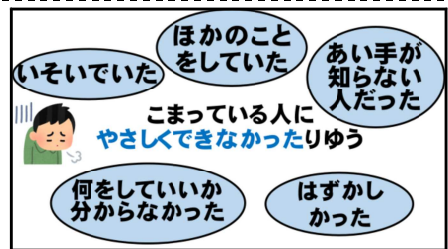
本時ではまず、『まいごのすず』の教材を通して、優しい心（気持ち・行為）を見付けていくことを確認する。そして、「どうして、道徳の勉強で優しい心を見付けているんだったかな」と問い、「『優しい心で楽しい毎日』にしたいから」など、単元の目標を意識できている発言を称賛する。



【学習の流れ】

～行 動～ **学習活動 2・3**

教材文の内容を確認する際に、ゆうきたちが落とし物の鍵を見つめている場面で何を考えていたのかを問うことで、映画を諦めてまで落とし物を届けに戻るか迷う気持ちがあることに気付けるようにする。その際、事前質問紙の結果をまとめた、「困っている人に優しくできなかった理由」を提示することで、ゆうきたちが迷う気持ちに共感できるようにする。その後、「こんな風に迷う気持ちも分かるよね。どうしてゆうきさんは、落とし物を届けに戻ったのかな」と問う。ゆうきが親切にできた理由について考え話し合うことを通して、その行為のよさや、実行に移すために大切なことに気付けるようにする。ワークシートに自分の考えを記入した後は、自由に友達と交流する時間を設ける。その際、「なるほど」と思った友達の考えがあれば、自分のワークシートに青色で加筆するようにし、交流によって新たな気づきがあったことを捉えやすくする。また、自分から友達に話しかけることが苦手な子供に対しては、その子が話しやすい相手を見付けて適宜、間に入り、安心して自分の考えを話せるようにする。



【優しくできなかった理由】

全体交流では、子供の発言に対して、「落とししたのは友達じゃなくて知らない人だよ。みんなも学校の中で、誰の物か分からない落とし物をそのままにってしまったことは無い？」などと、「困っている人に優しくできなかった理由」と関連させて問い返しを行い、親切な行為についての考えを深めていく。また、子供の発言を基に、「相手が誰でも、困っている人には親切にする」「自分も相手も嬉しくなることをする」など、ゆうきの親切な行動の背景にあるものを板書しておき、振り返り場面で、「これまでも大切にしていたこと」や「新しい発見」を探すときの手掛かりにできるようにする。

～振り返り～ **学習活動 4** 【レベルアップタイム】

優しい心（本時の学び）を見付けるために、「これまでも大切にしていたことや新しい発見を探す」という、学びを正確に捉える方法を教示する。初めに、単元を通して『優しい心で楽しい毎日』のためにこれから大切にしたいことを書きためてきた振り返りカードを基に、本時までの自分の考えを確認させる。教師が本時の板書を撮影して1人1台端末に送り、学習支援アプリで板書の写真の中に色分けして線を引くようにすることで、「これまでも大切にしていたこと（赤）」や「新しい発見（青）」を探しやすくする。その後、捉えた優しい心を基に、「これから大切にしたいこと」を振り返りカードに記述させ、大切にしたいと思った理由とともにペアで伝え合う時間を設けることで、その自覚を高める。



【板書の写真に線を引く】

全体で共有する際には、「これまでの自分はどうだったかなと考えたから、優しい心が見付かったね。そこから、これから大切にしたいことを考えることもできているね」などと、方法を用いて学びを正確に捉えられたことを称賛する。

名簿	
やさしい心で たのしいまいごのために大切にしたいことを考えよう	
日づけ	自分がこれから大切にしたいことを書こう
運ぶのべんきょうをする前の自分	友だちを手つたう
お話の名前	ぐみの木と小鸟
これから大切にしたいこと	自分もあい手もうれしくなることをする
お話の名前	まいごのすず
これから大切にしたいこと	あい手がだれでもこまっている人には親切にする
お話の名前	

【振り返りカード】